

日本の木と暮らし

日本はお森持ち

日本にはたくさん森林があります。では具体的にどのような森林が多いのでしょうか。日本は7-10が森林で残りの30が湖です。図1を見てください。日本は1966年に比べて森林蓄積の推移が3355万m³も一回も減らずに増えています。また、人工林は2017年の時点で308万m³もあります。しかも人々は横 高さ25cm 高さ80cmの木が残っています。よって日本はお森持ちだと言えます。

木は守るべき？使うべき？

木は守るべきなのでしようか？それとも使うべきなのでしようか？これはとても悩ましい質問です。なぜなら気を使うことにメリットもデメリットもあるし、守りすぎてもメリット、デメリットがあります。これに対しての回答は分かれると思います。まず、気を使うことへのメリットを考えてみましょう。木を使うことで、人の生活はとても豊かになるでしょう。なぜならたくさんのが作れるからです。しかしこの生活はいつまでも続くのでしょうか。きつといつかは木がなくなり、今度は大変な生活となるでしょう。また、生物の住処がなくなり、人間の食べるものも無くなってくるでしょう。

森林蓄積の推移



図1

では、守り過ぎたらどうなるのでしょうか？きつと空気はともおいしくなって美味しい食べ物を作ることができると思いますが、しかし、日本の木を使つたものを作ることが出来ず熱に強い木は火事になっても燃え尽きるのが遅いけれど、火事に弱い鉄などで家を作ることとなるので、火事で長く持たない物件ばかりになってしまいます。

日本の伝統と働く人との関係

日本にはたくさん伝統工芸品があります。木でできているものも多くあると思います。例えば大館曲げわっぱやこけしなどがあるでしょう。しかし働く人が減るにつれて日本の伝統を知っていて作る人が減ってしまうのではないのでしょうか。これから先このままどんどん日本の伝統を伝えていく人が減ってしまうのではないのでしょうか。きつとこのままいくと、日本の伝統はここで途切れてしまいます。それを防ぐためにどうすれば良いのかを考える必要があると思います。

日本の木の未来

今まで通りに気を使ったら今後の気はどうなってしまうのでしょうか。また、一切使わないようにしたら今後の人々はどうなるのでしょうか。どうすればこれから美しい自然と共に楽しい暮らしができるのでしょうか。

「木を少しだけ使えば良い」と思うのでしょうか。本当にそれをするにはできるのでしょうか。未来の人々は気を使いきることを我慢することができるといえるのでしょうか。このような問題を解決する未来の人々とは今木について勉強している私たちのことです。私はこのまま自由に木を使つていくと、いつかはお森持ちの日本の気もなくなってしまうのでは？そう考えます。しかし、木を使わな過ぎても大変なことが起きます。「木を使い過ぎず使わな過ぎないぐらいの木の採取」を実現出来るように努力をしなければなりません。そしてそれをするのは私たちなのです。

林業で働く人を増やすために

日本の森林の歴史と現状

日本は昭和30年に日本の山の木をほとんど使ってしまった、気を使う事が禁止されてしまった。それから、自給率も低くなって行った。また、植林を進めた。

竹林をする事で、戦争直後にハゲ山は、また木が動き始めて、使えたくても絶対に使えなかった状態からはこくふくする事ができた。



少し生えた。



日本の林業が抱える問題

① 自給率が減ってきている。

このまま減っていったら、輸入ばかりになり、赤字になってしまい、日本の技術が少なくなり、木こりの人が働けなくなる。

② 林業で働く人が減ってきている。

このまま減っていったら、日本の技術は、少なくなり、木から作る鉛筆も値上がりするか、無くなっていくかする。



木の魅力①

木は、なんだか温もりがある。
木は、時間が経つにつれて、濃い色になり、いい色になる。
木はそれぞれ癖がある。



少しずつ色がこくなっていく。



木の魅力②

木は、人間の使うものから出たり、人間から出るCO2を吸い、酸素を出す。
(地球温暖化も少し防ぐ事ができる。また、木をたくさん植える事ができると、水害などの災害から人を守る事ができる。)



日本の森林と未来

日本の木は使うべき

〈理由〉

戦争の後木がなくなりましたが、今はあります。だから天然林はできるだけ置いておき、間伐つや植林を続けていけば、困ることはないし、木を使ってもいいと思います。

また、林業で働く人が減ってきている点からは、もっと減少して、機械を頼って一人だけしかしない、仕事になるかも知れないけど、これから、小学生、中学生、(高校生)に林業の魅力を入れていくことなどを伝え、よく林業という仕事をに詳しい人を多くし、『林業やりたい!』という人を増やしていけば、いいと思ったからです。



世界、森林の危機

世界には、森林が多くあります。しかし現在の森林の現状は、人口増加の影響によって木を多く必要となったり、違法伐採が行われて、生き物のすみかが減少したり、不正な貿易が行われたりしています。

日本には森林が約7割あります。日本の森林は将来、どのようになっていくのでしょうか。

日本の古い

伝統品

日本の古い伝統品には、木が多く使われています。木は軽く、他のプラスチックなどの素材に比べて温かみがあり、長く持つため、古く昔から使用されています。その中でも桧は、さわりごごちがよく、においもよく、加工をすることでつるつるした手ざわりにすることができると、高く評価されています。

木は熱に強い

「鉄は木よりも強い」みなさんはそのようなイメージが強いのではないのでしょうか。しかし本当は「木は鉄よりも強い」と言う方が正しいのです。鉄は熱に弱く、すぐに形を失ってしまふ特性があります。木は形をすぐに失いません。

戦争に左右される林業

林業が抱える問題は色々ありますが、現在林業で困っている問題は「ロシアの軍事侵攻で、木材の値段が値上がりしている」と言う事です。株式会社松野商では、コロナウイルスがおさまった頃、再開しようと思ったら、ロシアとウクライナの戦争が始まり、木材が戦争の影響で木材が届かなくなり、木材の値段が急激に上がって、木材会社と競争が起きたりと、とても大変だったそうです。

現在は始めの頃より木材の値段が上がったりはしていませんが、影響が全くないわけではありません。

森林に恵まれている日本の未来

私は森林を守った方がいいと思います。理由は、木を使いすぎてしまうと森林の木がどんどん減って行き、土砂崩れなどの災害が起こったり、木が少なくなると落ち葉が落ちず、土に栄養が行き届かず、生き物のすみかまでもなくなってしまうからです。しかし、日本は古く昔から大切に守られてきた木造建築物がたくさんあり、そのような伝統はこれからも守るためには木を使う必要があると思います。そして、私達が生きていくうえで必要な日用品を作るためにも、木は使う必要があります。このような物を直したり作ったりするにも、木を守るためにももう少しで使えなくなりそうな古めの木を使うことが大切だと思います。

日本が誇れる貴重な資源



レーザ計測による3D画像



ドローンを活用した森林調査



ラジコン式下刈機

日本の森林の現状
日本の森林率は97%で、世界から見ても森をたくさん持っていると言える。今現在は、自然林の方が圧倒的に多いと思っていたが、人工林も割合は少ないが、思った以上に多い。これは、ハゲ山が本当に生えなかったため、植林したためだ。

木の良さ

木は紫外線を吸収してくれ、温もりがあり、また使えば使うほど味が出てくる、ものすごく長い間木は使え、熱にも強い。そして、構造そのものの金額が安く、鉄よりも木の方が軽い。また、運ぶ時のコストも削減にもつながらない。また、鉄だと、また作り直さなくてはならないけど、木ははめて固定するため、組み替えることができる。

日本の林業、ピンチ！

働く人が減っている事、日本の木材の伝統の衰え。働く人が減っている要因として、危険性があり、給料が安いという事が挙げられている。今は、先端技術を活用した「スマート林業」を推奨して、給料UPということが求められている。日本の木材の伝統の衰えに求められているのは、私が思うにもう少しお手軽な値段で買えたらいいのかなと考える。例えば、プラスチックのスプーンに比べ、木のスプーンの方が高いですが、でも、身の回りに沢山の木を使ったものが増え、選べるようになってきたら木と選ばれる木が増えたらいいなと思った。木の良さを知ってもらえば高くても買いたい人が増えると思う。

木は貯蓄しておくべき

普段使うわり箸などは輸入して、伝統工芸品などは国産の木材にする。環境には、木材CO2の貯蔵庫というくらい木は不可欠なため、少しずつ置いておく。そして、森は沢山の野生の動物のすみかのため自然を整備し、特に絶滅危惧種などの改善が出来るかもしれない。

林業は、スマート化へ

① 間伐するものを測定している様子。立体的に見えるため間伐には最適。
② は、「山林内が暗くなった」ことだった。秦野市にある弘法山公園には、人気のハイキングコースがあるが、近年は部分的に林内が暗くなったため、怖がって歩く人が減ってきてしまったのだ。人が歩かなくなれば、林道が踏まれなくなる。雑草が生い茂ったり、虫が繁殖したり、という悪循環に陥ってしまうという可能性がある。それを防ぐためには、まずは林内を明るくする必要があるので、どのように対応していくべきかを検討する中でいま流行のドローンに思い立ったのだ。

木は使い過ぎないのが大事！



日本の木の歴史

日本は木を300年前から使われており、木を燃やし火を起こして木はたくさんあった。でも、第二次世界大戦の空襲により、家や森が焼け野原になってしまったので、みんなが家を建てるようになって木が少なくなってしまった



木の魅力

木は鉄と比べて温もりがあり、火にも鉄より強いのが良い所。

またCO₂を吸ってO₂(酸素)を出してくれるし、水を吸って災害を防いでくれるから木は重要な役割

また、杉やヒノキはとても良い香り！

違法伐採について

私たちは知らない間に違法伐採の木を使っているかも知れない。だから合成木材を証明するマークがついているか確認して、合成木材を積極的に使わなくてわいけな



木は少しずつ使うべき

私は木は使い過ぎないのがいいと思う。理由は、木を守ることによってCO₂からO₂に変えて環境にもいいし、木を使い過ぎると知らない間に違法伐採の木を使ってしまいかも知れないけれど合成目材を使えばいいし、木は鉄よりも温もりがあり、落ち着く香りがしてリラックス効果もあるので、木は少しずつ使い、伐採の木を使わないようにすればいいと思う。